



# 亀中だより

No.40 令和6年1月19日 文責 岡田



For The Students!

## 「授業改善の継続」と「家庭学習の充実」

年末に行った学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。学校ではアンケートの集約をもとに今年度の学校教育活動の振り返りを行っています。学校経営方針に掲げた重点目標ごとにアンケート結果等を指標として自己評価し、学校運営協議会でその学校自己評価について関係者評価をしていただくことも予定しております。まずは、アンケート集計結果をみなさまにもご報告させていただきますので、ご覧ください。(次頁参照)

生徒、保護者のみなさんの結果では、5%以上の大きな改善には至らないものの、たくさんの項目で昨年よりも改善が図られたと考えられるご回答をいただきました。これからも一つひとつの項目へのご意見を真摯に受け止めて、今年度の取組の成果と課題を明らかにしながら、今後の教育活動の改善に取り組んでいきます。今後も保護者、地域のみなさまの声を大切にするとともに、その期待に応えられるよう努めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

中でも生徒、保護者、教職員の三者ともに肯定的意見が少なくなっているのが学力です。学校としては引き続き「わかる授業」「力のつく授業」に取り組めます。また、家庭学習の不足が亀山市全体の課題ともなっています。学校からもアプローチしていきますが、ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。

## 高校入試が始まりました！

三年生は3学期が始まりすぐさま行われた実力テストに加え、1月15日、16日には学年末テストも行いました。そしていよいよ高校入試も始まっています。1月中旬より私立高校の受験が行われており、2月5日からは県立高校前期選抜も開始されます。受験(験)には必ず結果があります。前期選抜全日課程の志願者数は定員の2倍以上となることもめずらしくありません。いかなる結果になろうとも悔いを残すことのないよう、今の努力を大切にしてください。



入試に際しては、テスト勉強が基本となるものの、前期選抜等では面接や作文も大切になってきます。面接や作文は学校でも練習に取り組んでいますが、基本は、「なぜその学校を選んだのか」「そこで自分はどうしたいのか」がしっかりと話せること、書けることが必要です。しかもそれはその時だけのものであってはいけません。面接、作文という機会を通して、自分の目的、目標をはっきりとさせ、自分がどうなりたいたいのをクリアにしておきましょう。また面接での立ち居振る舞いは、日常と同じものであってほしいものです。その場だけを取り繕うものではなく、日ごろのあなたの姿が、その場にふさわしいものとなるよう努めてください。入試には体力も必要です。健康には十分注意して、一日一日を大切にいきましょう！

## 令和6年能登半島地震に際して…

元日に発生した「令和6年能登半島地震」の報は、まさに日本中をお正月ムードから一転させる出来事でした。思えば東日本大震災も伝え聞いた話であろう今の中学生のみなさんです。これからは担うみなさんが、不安定な世の中をどのように生きていくか、そのためには始業式で話したように共感力を持った協力する姿勢が何より必要です。「対岸の火事」と考えることなく、自分にできることは何かを問い続けたいものです。

被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。また、昼夜を問わず災害対策に当たられている皆様方に深く敬意を表するとともに、被災地域の安全の確保と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。